



engels

ramen  
deuren

châssis  
portes

Onderhoudsadvies ramen, deuren en glas  
Conseils d'entretien de châssis, portes et vitrage  
Wartung von Fenster, Türen und Glas  
Maintenance of windows, doors and glass

Maintenance of windows, doors and glass.

取扱説明

《窓・ドア・硝子の維持管理》

<p>1</p> 	<p>いかに良い品質のものであっても、維持管理をしなければなりません。エンゲルスの窓とドアは最新の技術と知識のもとで、最も厳格な規格・基準で製作されている。しかし、他の全ての工業製品と同様に、維持管理次第でその寿命は多に異なる。</p>	<p>7</p> 	<p>ドレーキップ窓の障子を外すには、上ヒンジのピンを外し、障子を45°まで開け、持ち上げる。 (取付は逆の手順。)</p>
<p>2</p> 	<p>1) 上部ヒンジ側で障子が枠に擦れていたなら内倒し用アームを支えている部分のボルトを調整(六角レンチ)。 2) 水抜きが詰まっていないかチェック。(下がまのアルミ水きり部分) ドア全ての仕様は3点締め、反りを防ぎ、防犯にも有効</p>	<p>8</p> 	<p>気密シールは容易に取外し、取付が可能。 1) 先ず、4方の端部から押し込む。 2) 端部から中央へ押し込む。</p>
<p>3</p>  <p><b>PVC + ALU</b></p>	<p>材は防菌・防虫・防色に <b>Respur93D90</b> を含浸済。現場塗装の場合 第1回塗装:取付前(割れ・変形防止。)、 第2回目:取付直後。 第3回目:取付後6月間以内。 その後は3年~5年毎1回塗装。 木表面の大きい玄関戸やガレージドアは水分吸収防止に、取付直後3回塗。 PVCおよびアルミの維持管理。水や清掃剤で定期的に清掃して下さい。トリートメント溶液、溶剤、酸、車磨き用研磨剤は使用しないで下さい。</p>	<p>9</p> 	<p>硝子はセメント、モルタル、石灰、アルカリ塗料、フッ素含有製品に触れないように注意!!コンクリートの水洗い後の酸や雨水でモルタルの接合部から染み出た液が壁を伝わって硝子に付着して出来るセメントの跡。この跡は消せない。この跡は複層硝子の中間にあるように見える。</p> <p>もし前記の跡を発見したら、直ちに、水を十分使って、洗い流さない。ごしごし磨いて落とす場合には、アンモニアやメチルアルコール系の清掃剤を加えることも出来ます。</p>
<p>4</p> 	<p>1) ロック金物の稼動部分全てに油を注す。 2) 締めつけ状態をチェック。必要なら調整。 3) 気密シールは効いているか?シールに塗装禁止。必要なら、端部から交換。 **注:シリンダーに注油禁止。黒鉛で潤滑していません。</p>	<p>11</p> 	<p>注意:1) 溶接や金属削りの火花は取り返しのつかない傷をつけることがある。2) 自然に硝子が割れる事がある。原因は、局部的な加温、陰、ヒーター、ばたんと締める衝撃、袖窓付き窓や型板硝子の場合以外に拡大する。</p>
<p>5</p> 	<p>硝子シールおよび躯体・枠間のシールに切れ目はなにかチェック。水の侵入の危険があれば補修して下さい。鳥につつかれたりしてシールが傷んでいる事もあります。</p>	<p>12A</p> 	<p>ヘーベシーベ引き戸を外すには。 1) 上部両端のプラスチックキャップのネジを外し、取り外す。 2) 障子を15mm持ち上げ、下を引き外し、下ろす。</p>



engels

ramen  
deuren

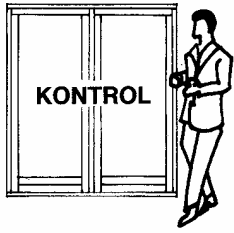
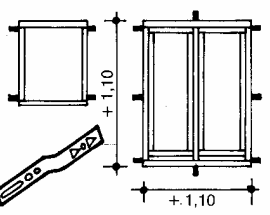
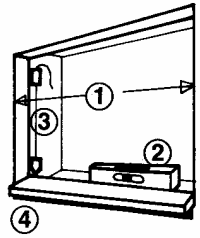
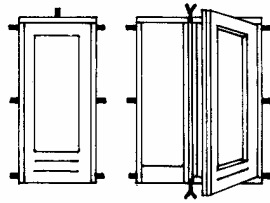
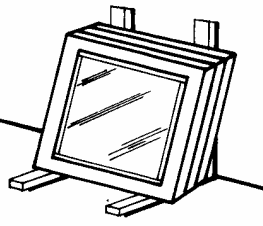
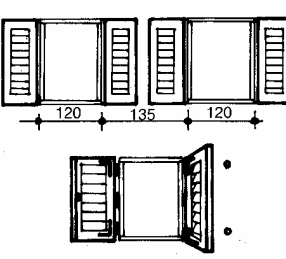
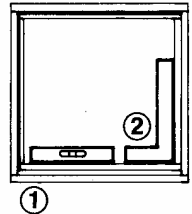
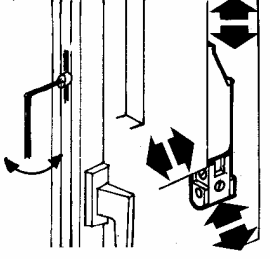
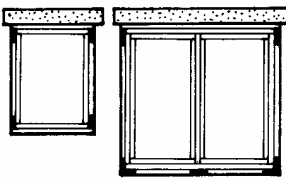
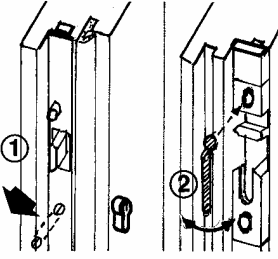
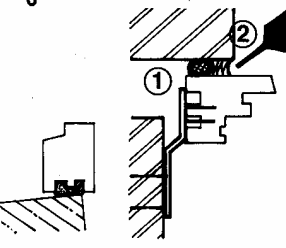
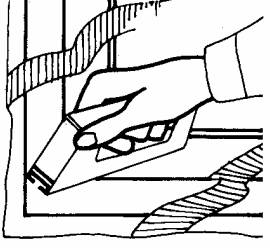
châssis  
portes

Plaatsingsvoorschriften  
Instructions de pose  
Montageanleitung  
Installation

Installation.

取扱説明

《取付》

<p>1</p> 	<p>エンゲルス窓およびドア厳格な基準で製作し、工場の出荷前に注意してチェックを実施しております。しかし、以下のことを推奨します。到着時に硝子破損を含む欠陥をチェック。欠陥があれば、取付も補修もしないこと。同梱の付属品も使用しないこと。</p>	<p>7</p> 	<p>取付4 窓の固定 1) 端部から15cmの位置 2) 中間は50cm毎に取付固定ジグまたはビスで。</p>
<p>2</p> 	<p>開口 1) 開口部の寸法は正しいか。 2) 開口下部は水平か。 3) 縦は垂直か。 4) 敷居は正確か。(水きりを取り付ける状況の確認。) 5) リベートは5mm以上。(外壁の枠にかぶる部分)</p>	<p>8</p> 	<p>ドアの固定ヒンジ側の枠をさちっと固定。特に上のヒンジ部の固定を。さもないと、障子がたれて、鍵が掛からなくなったり、水密シールを効かなくなったりします。</p>
<p>3</p> 	<p>保管と輸送 1) 硝子の破損防止に立てて置く事。 2) 現場での保管ははじめじめした場所を避け、涼しい場所で、地から離して保管。</p>	<p>9</p> 	<p>取付6 ガラリ戸 1) 窓と窓の間隔を空け、ガラリ戸の開閉空間を確保。 2) そり防止に - コーナーヒンジの使用 - 上中下3点ロック - 壁に戸当り上下2カ所およびあおり止め。</p>
<p>4</p> 	<p>取付1 1) 敷居は取り付け前に設置。 2) 本体の垂直、水平、矩形を維持する。</p>	<p>10</p> 	<p>調整1 1) 窓を取付固定する前、仮とめ中に、数回開閉チェックをする。 2) 障子ロックピンの締めつけ強度及び障子位置を4mmの六角レンチで調整。</p>
<p>5</p> 	<p>取付2 1) スペースを使い矩形に。 2) 障子と枠を水平に維持する事。</p>	<p>11</p> 	<p>調整2 1) シリンダーの効きを確認。 **決して潤滑材をシリンダー内へ注入しないこと** ロック受け金物の位置調整 2) シリンダーの取り外し-小口のネジを外す。-シリンダーを引き抜く。(取付のときは逆の手順)。</p>
<p>6</p> 	<p>取付3 1) 躯体と枠の間にシール。 2) その後に漆喰を封入(ベルギー仕様)</p>	<p>12</p> 	<p>養生壁に塗られた漆喰や生乾きの材料は、ガラスを傷付ける可能性があり、ポリエチレンで養生して下さい。</p>